

ICTニューズレター

風疹流行中

風疹は一般的に（三日はしか）と呼ばれ‘風疹ウィルス’が原因となる感染症です。

症状は

微熱（出ないこともある）、発疹（顔から始まり全身に広がる）、耳の後ろのリンパ節の腫れです。

風疹ウィルスが体内に侵入してから実際に症状が出るまでの期間は2～3週間です。

潜伏期間にも微熱と首のリンパの腫れが見られることがあります。発疹は「三日はしか」と呼ばれるとおり三日程度で治ります。リンパ節の腫れは発赤が現れる1週間前から見られ小さくなるのに数週間かかります。

治療として、風疹の特効薬はありません。そのためワクチンによる予防が最も重要です。

風疹自体は重症化するのはいまだに6000人に1人の割合で脳炎が起こることがあります。

風疹で最も気をつけたいのは妊娠初期に女性が感染してしまうと生まれてくる赤ちゃんに「先天性風疹症候群」という怖い病気が生じる場合があります。

先天性風疹症候群の症状は先天性の心疾患、難聴、白内障が3大症状です。生まれてくる赤ちゃんのためにも家族で予防接種を受け予防していく必要があります。